



■発行／公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間／午前9:00～午後9:00

休館日／毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）
年未年始

住所／愛媛県松山市市坪西町551番地

T E L / 089-965-3111

F A X / 089-965-3388

ホームページ／<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム／https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第五十一号

TOPIX

- 1 私の相撲道(相撲)
- 2 オンライン弓道大会について(弓道)
- 3 合気道の稽古雑感(合気道)
- 4 令和3年度 愛媛県武道館 親子武道体験教室

相

撲

Sumou

私の相撲道

執筆／愛媛県相撲連盟 理事 山下 成樹

中学校の教員として相撲部の監督を拝命して4年目となった。初任校は、愛南町立御荘中学校、そして今年度からは、地元西予市の野村中学校に勤務となった。野村町は、「ミルクとシルクと相撲の町」と言われるように相撲熱の高さは全国屈指である。

私と相撲の出会いは小学生の頃に参加した、お祭りの相撲甚句で相撲を取ったのが最初だった。木綿のまわしより更に柔らかいまわしを祖父に着けてもらい土俵に上がったのが始まりであった。それから本格的に相撲を始め、明浜相撲クラブに入団。明浜中学校、野村高等学校、日本体育大学と相撲を続けた。悔しい思いをして、相撲から気持ちが遠のくこともあったが、私を駆り立てたのは中学校1年で目指した「相撲に精通した保健体育の教員になる」という思いだった。

大学時代は、私の相撲感を変える大きな契機となった。相撲を科学する日本体育大学の斎藤一雄監督から相撲の技術の奥深さを学んだ。斎藤監督の独自の指導哲学や科学に根差した指導理論が私の指導者への夢を増大させた。大学卒業後は、高校時代の監督でもあった上杉博賢監督(同校相撲部監督・国体成年監督)の下、野村高校相撲部のコーチとして指導者のイロハや対外的な役割について学んだ。尊敬できる指導者との出会いが今の私を形作っている。

コロナ禍にあって感じることもある。相撲の起源は、国盗りの力比べに由来すると言われ、古事記や日本書紀にも登場している。国技相撲は、日本の文化であり、五穀豊穰や無病息災を願う神事の側面も持っている。

相撲選手(力士)の四股は、邪悪なものを地中に押し込む意味を持つとされ、世の中を震撼させる新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう今だからこそ、人々の拠り所になっていなくてはならない。数年前までは、週末や大会の直前になると県内外で合宿を行い、相撲の醍醐味でもあるちゃんこ鍋を生徒と囲んでいたが、今、それはかなわない。しかし、苦しい時期を乗り越えた選手は強い。県内すべての少年力士の活躍と県内すべての医療従事者の方々に敬意を表し、今日もまた、粛々と土俵に向かう。



▲野村中学校相撲道場(R3.5.15完成)



▲野村中学校相撲部(R3.5.22)

オンライン弓道大会について

執筆／愛媛県弓道連盟 理事長 大谷 正

弓

道

Kyudo

弓道は非接触型競技であり、同じチームであっても2m近い距離を取って競技を行うため、密になりにくい武道と言えます。この利点を生かして、コロナ禍においても対策を講じたうえで各人練習を続けていますが、通信機器を利用することにより県内各道場に分かれて競技するオンライン大会が可能ではないかとの発案の下、初の試みとして令和2年6月7日に県下宇和島弓道大会を開催しました。

宇和島市立弓道場を集計場所とし、3人立28チーム、計85名が県下7道場に分かれて、予選8射、決勝4射を一斉に行いました。同中の場合は合計年齢により順位を決定することにより競射を省略し、3時間弱で終了することができました。ラインを使用し、各道場の様子はグループビデオ通話を、試合結果はグループトークを使って順次集計し即座に各道場に配信されるため試合の臨場感も従来の試合と変わらないものでした。

この大会をさらに進化させ、令和2年7月19日に県下弓道大会を開催しました。県下7道場に分かれて、12射の中制の個人戦、107名の参加、開催時間は4時間弱でした。順位決定の競射はグループビデオ通話で中継し、表彰式もオンラインで行いました。また、試合経過を会員任意のライングループで流すことにより、控室での密集を回避しました。

両大会とも、コロナ対策として試合会場を分散させた大会でしたが、居住地の道場にて短時間で参加できるので、弓道を始めたばかりの初心者や、長時間の試合に参加できない子育て世代の愛弓者も気軽に参加することができ、ニーズはあると確信しました。

オンライン大会は一か所に集合することなく開催できるため、全日本弓道連盟が全国大会を主催することになり、令和3年3月21日に全国オンライン弓道交流大会と銘打って31都道府県が参加する大会が開催されました。競技中はZoomで繋ぎ、競技記録はグーグルのスプレッドシートにて共有し、各県役員間の連絡はラインのオープンチャットで行いました。また、競技の様子はユーチューブでライブ配信され、インターネット上で誰でも見られるようにしました。愛媛県は国体強化選手3名が参戦し、予選トップ通過、決勝トーナメントも3試合中皆中2回と、圧倒的な強さで優勝しました。選手の実力もさることながら、運営スタッフのスムーズな通信運営が、会場全体に安心感と適度な緊張感を与えた事が大きいと思っています。



▲競技中



▲オンライン画像



▲愛媛県 選手 スタッフ

合気道の稽古雑感

執筆／愛媛県合気道連盟 理事長 沖浦 達幸

合気道は、開祖植芝盛平翁が日本伝統武術の奥義を究め、さらに厳しい精神修行を経て創始した現代武道であり、「真の武道はいたずらに力に頼って他人と強弱を競うものではなく、自己の人格の完成を願っての求道である。」と説き、その体現を目指す道として完成させたものです。

開祖は大正末期に「合気の道」と呼称し、茨城県岩間市に野外の道場を設置したのが昭和16年です。現在では国内外に広く普及・発展し、全世界で約140の国と地域で多くの人に愛好されています。

平成15年10月に愛媛県武道館が市坪の地に開館する以前、昭和の時代から愛媛県武道館は道後姫塚にあり、合気道の稽古もそこで行っていました。道後の電車の駅から山手に向かうと伊佐爾波神社の階段があり、その脇にある、昼間でも薄暗く急な曲がりくねった坂道を上りきったところに旧武道館がありました。建て替えが近くなった頃には建物全体が隙間だらけで、夏は蒸し風呂の中にいるような感覚で汗を流し、冬には冷たい畳の上で足の感覚がなくなりました。畳が硬く上手に受け身を取らなければ身体のあちこちが痛く痣だらけになるので、必死に受け身の稽古をした記憶があります。現在の武道館柔道場のように綺麗で畳も柔らかく、空調設備も整った場所で稽古できるのがまるで夢のようです。



▲地域社会武道指導者研修会

しかし、いつの時代でも私にとって最も厳しい稽古は、稽古に参加するために道場に足を運ぶという精神修行です。その日の体調、仕事の多さ、家庭の事情等で稽古に参加することが難しいという理由は幾らでも簡単に作り出すことができます。実際に、武道館の更衣室に辿り着いて道着に着替えるまでに引き返そうと思った経験は数え切れません。そのような状況の中で可能な限り時間を工面して道場に足を運ぶ理由は、合気道という武道に魅力を感じているからであり、その想いを共有できる仲間がいるからに他なりません。

合気道は、相手といたずらに強弱を競いません。他人と優劣を競うことをしないため、試合や競技を行いません。お互いの習熟度に合わせて、技を繰り返し稽古し、切磋琢磨し合って心身の鍛錬を図ることを目的としています。

お互いを尊重するという姿勢を貫く合気道は、いのちの大切さがうたわれる現代にふさわしい武道として「和」の武道と言われており、合気道の稽古に終わりではなく、うまずたゆまず道を求めてゆくのが稽古と言われています。

このような合気道の奥義に近づくための第一歩は、まず靴を履いて、愛媛県武道館柔道場を目指して自宅を出る第一歩から始まると信じています。

末筆になりますが、当合気道連盟の設立に尽力された鈴木茂氏が、本年3月に逝去されました。故人が当連盟の運営に際し武道館及び武道団体の皆様方に多大なるご厚情を賜り有難うございました。ここに謹んでご報告させていただきます。



▲稽古風景



▲鈴木茂氏(写真中央)

令和3年度 愛媛県武道館

親子武道体験教室

子どもに武道をさせたい、何か運動を始めたいとお考えの親御様、
親子で武道を体験してみませんか？



参加
無料

- 合気道編 / 8月7日(土) 10:00~11:00
- 少林寺拳法編 / 8月28日(土) 10:00~11:00
- 場所 / 愛媛県武道館 柔道場・副道場
- 対象 / 今年度4歳になる幼児~小学生(初心者)と保護者
- 定員 / 10組程度

運動できる服装でお越しく下さい。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスクの着用を原則とします。

※新型コロナウイルス感染症の拡大等により中止の場合は愛媛県武道館
ホームページに原則 **1週間前まで**に掲載いたします。

お問い合わせ(申込先)

〒790-0948 愛媛県松山市市坪西町 551 番地 愛媛県武道館

☐TEL : 089-965-3111 ☐ホームページ : www.ehimekenbudoukan.or.jp
☐FAX : 089-965-3388 ☐メールアドレス : jigyo@ehimekenbudoukan.or.jp

愛媛県武道館
ホームページ

